

おおた区議会だより

No.186

平成21年11月15日発行
第3回定例会号

発行 大田区議会 〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474(直通) ホームページ <http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

平成20年度決算を認定

地方自治の継続性を 守るための 予算執行を求める 意見書を提出



▲供用開始を22年10月に控え工事が進むD滑走路
◀羽田空港に完成した新管制塔(高さ115.7mで日本一)

大田区議会は、平成21年第3回定例会を9月16日から10月14日までの29日間の会期で開きました。本会議第1日に、区長あいさつの後、5名の議員が会派を代表して質問を行いました。第2日には、9名の議員が一般質問を行いました。

この定例会には、区長提出議案21件、報告議案5件、答申3件、議員提出議案として条例案2件と意見書1件が提出されました。

このうち、平成20年度決算については、決算特別委員会を設置し、実質6日間にわたり集中審査を行いました。その結果、平成20年度大田区一般会計・国民健康保険事業特別会計・老人保健医療特別会計・後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計の歳入歳出決算を賛成多数で認定しました。

平成21年度大田区一般会計補正予算(第2次)などの区長提出議案については、審議の結果すべて原案どおり可決しました。

また、議員提出議案のうち条例案2件は賛成者少数で否決され、意見書1件は賛成者多数で可決しました。

請願・陳情は関係委員会で審査した結果、採択3件、不採択5件、そのほかは継続審査となりました。

◆第3回定例会の主な内容◆

9月16日 本会議 第1日

(代表質問)

17日 本会議 第2日

(一般質問、議案の付託等)

18日 常任委員会

(総務財政、地域・産業、保健福祉、都市・環境、こども文教)

24日 常任委員会

(総務財政、地域・産業、保健福祉、都市・環境、こども文教)

25日 議会運営委員会

羽田空港対策特別委員会

28日 特別委員会

(開発・観光対策、交通問題調査、羽田空港対策、防災・安全対策)

30日 本会議 第3日

(議案の採決等)

10月1日 常任委員会

(総務財政、地域・産業、保健福祉、都市・環境、こども文教)

2日 決算特別委員会

5日 決算特別委員会

6日 決算特別委員会

7日 決算特別委員会

8日 決算特別委員会

9日 決算特別委員会

14日 本会議 第4日

(議案の採決等)

主な掲載内容

- 区政をきく・・・2～5面
(代表質問・一般質問)
- 区長あいさつ・・・5面
- 決算に対する各会派の意見・・・6面
- 定例会で決まった議案・・・7面
- 請願・陳情の結果・・・8面
- 意見書・・・8面
- 各国都市から議会訪問・・・8面
- 平和祈念コンサート報告・・・8面

第4回定例会の予定

- 11月 26日 本会議(第1日)
- 27日 本会議(第2日)
- 30日 常任委員会
- 12月 1日 常任委員会
- 2日 議会運営委員会
- 3日 特別委員会
- 7日 本会議(第3日)

○第4回定例会に付託予定の
請願・陳情の締め切りは、
11月18日(水)の予定です。

本会議、委員会は、どなたでも傍聴することができます。
ご希望の方は、本会議は本庁舎1階受付、委員会は本庁舎10階議会事務局窓口までお越しください。

区政をきく

代表質問

景気・経済のさらなる支援策で地域経済の活性化を!!

大田区議会公明党 渡部 登志雄



10月1日開園のキッズプラザアスクラのき保育園

△衆議院選挙結果を受けて▽
①区長は国に対して補正予算凍結を強く抗議すべき。

②適宜適切な場面をとらえて、区としての意見・要望を積極的に国に発信する。
△平成20年度決算を踏まえて▽

③22年度の予算編成における取組みについて具体的な説明を頂きたい。

④費用対効果の検証などを徹底し、全職員がより一層の問題意識を持って予算編成に臨めるような手法を検討している。

△プレミアム付商品券▽

⑤区内のどの地域でよく売れたのか。また郵便局での販売の評価は。

⑥地域別には、蒲田地区で全体の39%、大森地区で33%、調布・千鳥地区で28%。郵便局での販売は有効であったと評価している。

⑦商品券の区内・地域別利用状況は。使用期限が過ぎた場合の商品券の取扱いは。

⑧9月11日現在、区内で約93%使用されている。地域

ご利用ください

会議録検索システム

区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。

大田区議会ホームページアドレス
http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/

名としている。計画目標達成のため積極的に整備を促進する。

△家族介護者の負担軽減のためのショートステイの整備状況と今後の計画は。

⑨21年9月現在、区内にあるショートステイの数は200床。「未来プラン10年」においてもショートステイの拡充を盛込んでいる。

⑩今後、効率的な利用の仕組みについて検討を重ねる。

⑪介護老人保健施設の3か月という期間設定を変えることはできないのか。

⑫在宅復帰を目標とする施設の位置づけから難しい。

△待機児解消に向けて▽
⑬平成21年4月時点の300名を超える待機児数が入所できる体制を。

⑭「未来プラン10年」の目標を前倒しで実施等により、保育サービス定員320名増を見込んでいる。

△羽田空港跡地利用計画▽
⑮空港に隣接する一等地である跡地の産業面での活用方法について伺う。

⑯OTA基本プランで産業支援機能を導入することとしており、また21年3月の「産業振興基本戦略」で、新たな拠点の整備を産業振興の方向性のひとつとして位置づけている。

⑰区が目指す国際都市の側面から見た跡地利用は。

⑱第2ゾーン利用の方向性として国際交流施設を位置づけている。また第1ゾーンは国内外の多様な人々の出会い相互交流から、より

豊かな暮らしが創造できるような機能導入を検討している。

△地球温暖化対策▽
⑲LEDの街路灯への活用について今後の取組みは。

⑳21年度の設置場所は、呑川緑道を予定しており、今後、設置状況やLEDの性能、耐久性、価格を検証し本格的な街路灯への活用を検討する。

㉑LEDの積極的な活用を期待する。本庁舎の照明改修の進め方は。

㉒エレベーターホールやトイレ等のダウンライト、約1、100台にLED照明を採用する。また一般事務室は、省エネ効果の高い蛍光管の照明器具に取替える。

㉓次世代電気自動車の導入についての対応を伺う。

㉔ハイブリッド車を6台導入しているが、電気自動車等についても性能の向上などを検証しながら導入時期を検討する。

△ハリアフリーのまちへ▽
㉕大森海岸駅前歩道橋の工レベーター工事の進捗よく状況は。

㉖21年10月に上屋工事に入り、エレベーターの据付工事を行い、22年1月末に完成予定である。

㉗大森駅東口下りエスカレーターについて、区が責任をもって設置に向けた働きかけをすべき。

㉘構造上、駅ビル店舗への影響など困難な課題があるが、鉄道事業者と協議し調査研究を進めたい。

魅力ある都市空間をめざし着実な政策実現を

大田区議会自民党 松原 茂登樹

△都議選・衆院選の結果▽

①国や都からの交付金が凍結された場合の予定事業や施策への対処方法を伺う。

②区として必要な施策は一般財源での対応もあり得る。しかし、見直しが必要なのは適切に対応する。

③未来プラン10年で掲げた地域力、国際都市の取組みについて、これまでの状況と今後の方向性を伺う。

④18出張所管内で地域力を活かした取組みが展開され、地域力応援基金助成事業では81件の応募があった。国際都市は、多文化共生推進プランを検討し、区民意識調査や具体的事業のイメージを整理している。

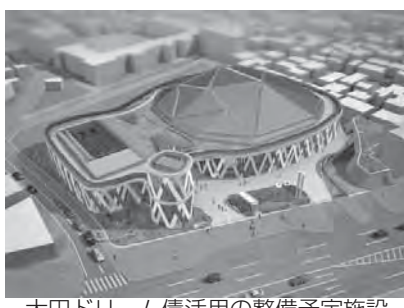
⑤今、政治が大きく変わっていく中で、「経営戦略会議」の役割とは。

⑥区政の課題や区長の行政経営方針を明確にし、具体的施策に反映させるために設置している。

△羽田空港跡地利用計画▽
⑦跡地整備計画の位置づけとねらいとは。

⑧OTA基本プランを踏まえ、第1ゾーンについての詳細を検討し、跡地利用の実現につなげる。22年10月を目途に具体的なプランをまとめ、区の発展に寄与する土地利用に向けて積極的な役割を果たす。

⑨跡地取得に関わる都と区の課題を早期に解決するための決意を伺う。



大田ドリーム債活用の整備予定施設「大田区総合体育館(仮称)」完成予定図

な道路ネットワークが構築されると確信している。

△羽田旭町のまちづくり▽
⑩空港玄関口である羽田旭町地区の開発計画は、今後どのような姿勢で臨むのか。

⑪この計画は十分な公共貢献、地域貢献が必要。海老取川沿いの水と緑の散策路整備、ヤマト運輸と鹿島建設の境界に散策路につながる東西連絡通路確保について概ね合意が得られている。

⑫地元の意見等に配慮し、周辺環境の向上に資する計画となるよう強く申し入れる。

△高齢者福祉政策▽
⑬区所有地の有効利用や整備用地の買上げで、50年以上の借地として貸付け、借入比率の制限緩和や柔軟な

NY旅客機事故「ハドソン川の奇跡」に想う

自由民主党大田区議員 塩野目 正樹

△空の安全・安心に向けて▽
⑭私達は「羽田沖逆噴射事故」を忘れてはならない。

⑮区は航空機事故の人命救助をどう位置付けているか。

⑯地域防災計画の大規模事故等応急対策で、その対応が定められている。

⑰区には「航空機事故応急対策」はあるのか。

⑱国土交通省東京航空局が定めている緊急計画との連携で、区は地域防災計画の中で「大規模事故等応急対策」を定めている。

⑳滑走路近辺で航空機が墜落した場合、緊急事態として多くの「海の男」たちが駆けつけてくれるという状況を区は想定しているか。



呑川

融資条件により、特養施設建設を推進しては。

㉑民間福祉法人に参入の意向調査を行っており、提案の施策を含めて、法人の参入意欲が高まる支援策を講じ、特別養護老人ホームの建設を早期に進める。

△住民参加型市場公募債▽
㉒大田ドリーム債の購入を通じ、まちづくりに参加するということ意識が区民に広がっている。区債発行に関する総括と評価を伺う。

㉓地域力・国際都市おおたに向けて、区民と協働した区政の運営を目指すものであり、区民からも好評である。今後も、区民から愛される大田ドリーム債となるよう努める。

㉔今後万が一の場合にも、協力頂くことが想定される。

㉕「多くの医師が早期に現場到着していれば助かる人は多かった」という教訓から設立されたドクターボートセンターと区はどのような連携をとるのか。

㉖東京国際空港長の要請で医療救護活動を行うボラン

傍聴をお待ちしております。



議会活動にふれるもっとも身近な方法に傍聴があります。本会議の傍聴は11階の傍聴受付までおいで下さい。席は76席あります。その内訳は、いす席69席、車いす用スペース3席、親子席4席となっています。親子席はガラス張りです防音となっており、お子さま連れでも安心して傍聴ができます。なお、会議の様子は親子席内のスピーカーから聞こえます。

※代表質問、一般質問にある『未来プラン10年』とは、平成20年第3回定例会で議決した「大田区基本構想」に基づき、平成21年3月に策定された大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年」を示します。

ティア団体であり、いざという時に備え、こうした団体との連携も検討する。

●航空機事故のような緊急事態発生時の医師会との連携等はどうかしているのか。

◎空港管理者、国の行政機関、地方自治体等が協力し対応するとともに区の三医師会を始め、日本赤十字社、川崎市医師会、空港医療班が連携して活動を行う。

●緊急事態とともに救急医療は大きな課題をばらばらしている。小児科医不足、出産難民等医療の現場は疲弊しているがいかがか。

◎区は、入院医療協議会や周産期医療検討会などで現場の率直な意見要望を伺い支援している。荏原病院の産婦人科分べんは、21年10月から再開予定となった。

△「風の道」の実現を▽

●海沿いや多摩川、呑川の護岸は、事故の際、直立護岸のため具合が悪い。「風の道」のまちづくりを進め、

●親水護岸としてはいかがか。

◎航空機事故の際、負傷者救出には、水辺の護岸は緩傾斜の方が救助隊にとって有利。「風の道」のまちづくりを進める上からも親水護岸の整備は重要と考える。

●呑川緑道の整備については、次の整備箇所はどの場所になるのか。

◎21年度整備予定の三か所は、現在設計を行っている。次の整備箇所は、中央八丁目、池上二丁目、南雪谷五丁目付近を検討している。

●緑の基本計画の改定の進捗よく状況とその骨格は。

◎航空写真による緑の実態調査、地域力を活用したまちの景観みどり資源調査を進めている。策定委員会を設置し、たたき台は、22年度当初を予定している。

△羽田空港と共に発展を▽

●空港の国際化は22年10月に迫っている。空港跡地の検討は、その取得を含めど

のくらい進んでいるのか。

◎具体的な土地利用や基盤施設の整備などを検討している。また、跡地取得の課題は、過去の経緯や地域の意向を踏まえ都と協議し、その主体や範囲を整理する。

●羽田空港国際化の式典、子どもたちの「作文と絵のコンクール」を開催しては。

◎22年度に向け、地域の方々と検討を進めているが、貴重な提案とさせて頂く。高架下の通路は、都に對し地域住民が外国から来た方に「ようこそ!」「どうしました?」と声をかけることが「未来へ躍動する国際都市」につながるのでは。

◎日本人が持つ思いやりやおもてなしといった精神が、あふれているまことにしたい。

●避難橋からモノレール昭和島駅までを明るくしては。

◎樹木と園内灯の接近箇所をさらにせん定し、経年に応じてランプ交換に努める。高架上の通路は、都に對し明るさの確保を働きかける。

積立・開発優先ではなく区民生活優先の区政へ

日本共産党大田区議団 和田 正子

△252億円積立てた決算▽

●20年度末積立金累計額が1,040億円になった。

◎区民生活優先ではなく積立優先の区政の現れである。

◎基金は今後の公共施設整備や緊急の財政出動に備え、中長期的に健全な財政運営に活用する。

●不用額は104億円余と過去最高であった。予算は

方「ようこそ!」「どうしました?」と声をかけることが「未来へ躍動する国際都市」につながるのでは。

◎日本人が持つ思いやりやおもてなしといった精神が、あふれているまことにしたい。

●避難橋からモノレール昭和島駅までを明るくしては。

◎樹木と園内灯の接近箇所をさらにせん定し、経年に

◎22年度に向け、地域の方々と検討を進めているが、貴重な提案とさせて頂く。高架下の通路は、都に對し明るさの確保を働きかける。

△積立・開発優先ではなく区民生活優先の区政へ

日本共産党大田区議団 和田 正子

区民との約束。区民生活支援に不用額を出さずに全力を尽くすべき。

◎不用額は、人員削減や経常経費の削減、一部事業の未執行などにより生じた。区民生活を支援する事業は年度末最後まで事業執行に努めるべきと考えている。

△都市整備と人材育成▽

●現在の新空港線「蒲蒲線」計画は白紙・撤回し、JR蒲田と京急蒲田を結ぶシャトルバスの計画にすべき。

◎平成19・20年度の調査で社会経済的に意義ある事業との評価を得ている。白紙撤回はしない。

●職員削減で40・50代が70%と継続的な区政運営ができない。職員削減をやめて雇用と人材育成を。

◎職員の大量退職期を迎え新規職員の採用に努めている。民間等の有用な知識・経験をもつ人材確保で職員全体の専門性を高める。

△福祉施策の充実を▽

●後期高齢者医療制度は廃止を。国に廃止を求めよ。

◎国の動向を踏まえ、区としても慎重に対応する。

●介護従事者が安心して長く働き続けられるよう区の独自支援策を求めよ。

◎21年度から職員の資格取得や職場改善の取組みに区独自で補助している。

◎区が責任を持って特別養護老人ホームなどの介護施設を整備し、国や都に對しても施設整備支援を求めよ。

◎20年度に特養ホーム施設整備費への補助を大幅に増額、国や都へは他区と連携し、補助制度の充実など繰返し要望している。

△補正予算について▽

●今回の補正予算で財政基金に30億円余を積立て、基金合計は1,137億円になった。待たなしの高齢者・障がい者、中小企業への支援、待機児対策をすべきたったのではないか。

◎融資あつ旋制度の金利引下げは当初予算に、認証保育所の開設誘致などは補正予算に必要経費を計上した。

△中小企業への支援▽

●区内中小・零細企業の廃業、倒産をこれ以上出さないために国の交付金の活用

△福祉施策の充実を▽

●後期高齢者医療制度は廃止を。国に廃止を求めよ。

◎国の動向を踏まえ、区としても慎重に対応する。

●介護従事者が安心して長く働き続けられるよう区の独自支援策を求めよ。

◎21年度から職員の資格取得や職場改善の取組みに区独自で補助している。

◎区が責任を持って特別養護老人ホームなどの介護施設を整備し、国や都に對しても施設整備支援を求めよ。

◎20年度に特養ホーム施設整備費への補助を大幅に増額、国や都へは他区と連携し、補助制度の充実など繰返し要望している。

△補正予算について▽

●今回の補正予算で財政基金に30億円余を積立て、基金合計は1,137億円になった。待たなしの高齢者・障がい者、中小企業への支援、待機児対策をすべきたったのではないか。

◎融資あつ旋制度の金利引下げは当初予算に、認証保育所の開設誘致などは補正予算に必要経費を計上した。

△中小企業への支援▽

●区内中小・零細企業の廃業、倒産をこれ以上出さないために国の交付金の活用



大田の工匠展

△主権者教育の推進を▽

●主権者教育の必要性、重要性について区長の所見を。

◎自立性の発達等の観点から重要な教育的要素である。

●年金や相続などの教育を学校の正規授業としては。

◎小中学校の公民的分野で基本的な素養を定着させた

いと考えている。

△自殺問題と自殺対策▽

◎命の問題、自殺問題、社会のきずなという問題に對しての考えを伺う。

◎非常に深刻な事態と認識している。

◎自殺対策の取組みは。

◎「こころの健康づくりのための環境づくり事業」を推進する。策定中の大田区地域保健福祉計画でも、主要課題として位置づける。

△地域主権について▽

●地域主権国家への改革について考えを伺う。

◎「地域主権」は、歓迎すべき政策と考える。

●民主党の基礎的自治体を重視した二層制と自民党の道州制について所見を伺う。

◎民主党政策集に「将来的には道州制の導入も検討」とある。自民党は2017年までの道州制導入を目指してきた。基礎自治体優先の原則の堅持が必要である。

●今後の首都論や都区制度の在り方について伺う。

◎今後の地方分権議論のなかで重点的に議論いただきたいと考えている。

△大田市場に場外市場を▽

●築地のような観光資源となるよう、区を挙げて場外



新型インフルエンザについての区民講座

政権交代 大田区民の生活が第一

大田区議会民主党 木村 勝

△衆院選と都議選の影響▽

●民主党政権誕生について

◎変化を求める有権者の意識が示されたと考えている。

◎区の今補正予算案のうち、15事業、20億円弱が国の補正予算に連動している。

△大田市場に場外市場を▽

●築地のような観光資源となるよう、区を挙げて場外

△主権者教育の推進を▽

●主権者教育の必要性、重要性について区長の所見を。

◎自立性の発達等の観点から重要な教育的要素である。

●年金や相続などの教育を学校の正規授業としては。

◎小中学校の公民的分野で基本的な素養を定着させた

いと考えている。

△自殺問題と自殺対策▽

◎命の問題、自殺問題、社会のきずなという問題に對しての考えを伺う。

◎非常に深刻な事態と認識している。

◎自殺対策の取組みは。

◎「こころの健康づくりのための環境づくり事業」を推進する。策定中の大田区地域保健福祉計画でも、主要課題として位置づける。

△地域主権について▽

●地域主権国家への改革について考えを伺う。

◎「地域主権」は、歓迎すべき政策と考える。

●民主党の基礎的自治体を重視した二層制と自民党の道州制について所見を伺う。

◎民主党政策集に「将来的には道州制の導入も検討」とある。自民党は2017年までの道州制導入を目指してきた。基礎自治体優先の原則の堅持が必要である。

●今後の首都論や都区制度の在り方について伺う。

◎今後の地方分権議論のなかで重点的に議論いただきたいと考えている。

△大田市場に場外市場を▽

●築地のような観光資源となるよう、区を挙げて場外

大田区民の生活が第一

大田区議会民主党 木村 勝

△衆院選と都議選の影響▽

●民主党政権誕生について

◎変化を求める有権者の意識が示されたと考えている。

◎区の今補正予算案のうち、15事業、20億円弱が国の補正予算に連動している。

大田区民の生活が第一

大田区議会民主党 木村 勝

△衆院選と都議選の影響▽

●民主党政権誕生について

◎変化を求める有権者の意識が示されたと考えている。

◎区の今補正予算案のうち、15事業、20億円弱が国の補正予算に連動している。

一般質問

大田区議会公明党
勝亦 聡



ご覧ください本会議インターネット中継

本会議の録画映像を区議会のホームページでご覧いただけます。また、本会議を録画したビデオテープの視聴も受け付けていますので、ご希望の方は議会事務局までお問い合わせください。

染予防品配布を行っている。医療体制の整備として、重症者用のベッド確保、医師会診療所体制の充実を図る。

△肺炎球菌ワクチン助成▽
●区が把握している高齢者死亡原因の「誤えん肺炎」と「肺炎球菌」の割合は。
◎肺炎の原因は死亡届に記載されないため詳細は不明。
◎誤えんによる肺炎予防のための口腔ケアを推進し、肺炎球菌の予防ワクチン助成もあわせて実施すべき。
◎第2回定例会で採択されたワクチン予防接種の助成に関する陳情を踏まえた対応のほか、口腔ケア実施も含め検討を進めている。
△新型インフルエンザ▽
◎定点医療機関あたりの患者数が、都平均より大田区踏まえ区の対策を聞く。

◎区の定点医療機関あたりの患者数は、都と同等の状況で推移している。感染拡大防止策として、啓発と感

◎区職員の半数近くが欠員した場合の体制づくりなど計画は策定されているのか。
◎区の業務を、区民生活を支えるため中止できない事業、窓口対応、一時的に中断する事業、使用中とする施設の4つに分け対応する。
△国保高額療養費給付▽
◎高額療養費給付申請書に領収書添付義務を30万円以上として根拠を伺う。

◎感染症拡大防止を目的として定めている登園停止期間経過後は、治療証明書の提出は求めている。無料化は今後の検討課題とする。
◎職員数の半減近くが欠員した場合の体制づくりなど計画は策定されているのか。
◎区の業務を、区民生活を支えるため中止できない事業、窓口対応、一時的に中断する事業、使用中とする施設の4つに分け対応する。
△国保高額療養費給付▽
◎高額療養費給付申請書に領収書添付義務を30万円以上として根拠を伺う。

◎周辺区の状況を勘案して設定している。一部負担金の支払いが適切な方法で確認できるよう改善する。
◎医療機関の健全経営促進が地域医療、区民の医療環境を守る。給付金事務手続きの改善を求めるが。
◎治療費の未払いについて、保険者が徴収する制度の検討を始めている。負担が少なく公正で迅速な手続きとなるよう引き続き検討する。

△区内がけ・擁壁の実態▽
◎危険ながけ・擁壁は何箇所あるのか。特に高齢者・障がい者等の施設と接する箇所を、区は具体的に把握しているか。
◎14年度以降、再調査は未実施でその後の情報は把握していない。高齢者・障がい者等の施設と接するがけ・擁壁の実態については、現在調査中である。
◎都調査による急傾斜地崩壊危険箇所70か所を視察したところ、2割にあたる14か所が、施設と危険箇所が隣り合わせという実態が明らかになった。この結果について見解を伺う。
◎実態を把握し適切な対応に努める。
△危険度の実態調査を▽
◎ゲリラ豪雨の多発、大規模地震の切迫性といった近年の状況を踏まえ、危険ながけ・擁壁の再調査を行うべきではないか。
◎全数調査が必要と考えており、22年度に実態調査の

実施を検討している。
△新設の改修支援の課題▽
◎今回の補正予算でがけ・擁壁改修資金の助成として900万円を計上しているが、その詳細は。
◎助成対象は、原則として個人が所有する高さ2m以上の危険ながけ・擁壁である。助成金額は工事費用の3割以内、300万円を限度としている。
◎制度創設にあたり、私有財産への公費投入、財政負担について、どのような配慮を考えているのか。また、その財源確保は。
◎助成対象は、道路に面するなど公益性のある整備工事に限定している。財源確保として住宅・建築物安全ストック形成事業や地域住宅交付金の活用を都と協議している。

△災害時要援護者対策▽
◎消防庁は、災害時要援護者避難支援プランの策定状況を調査結果を受け、取組みを促進するとのことだが、何か働きかけがあったのか。
◎調査後の働きかけはないが、この対策は、地域の防災市民組織、防災関係機関等との連携、情報共有がたいへん重要であり、体制の整備を進める。
◎災害時要援護者名簿の整備が進んでいないことについて、考えを伺う。
◎21年10月以降、ひとり暮らし高齢者及び在宅重度障がい者を対象に状況を調査し要援護者としての登録同意を確認する。名簿は21年度末までに整備予定である。

△空港直通シャトルバス▽
◎蒲蒲線実現のために、多摩川線沿線の住民に対する課題について考えを伺う。
◎運行形態により、列車騒音や踏切遮断時間の増大などが懸念される。実際の運行にあたり、低騒音車両や踏切警報時間制御装置の導入などの対策を鉄道事業者に働きかける。
◎蒲田駅ー羽田空港間の直通シャトルバスまたは直通急行バスを検討しては。
◎直通バスの運行は、羽田空港の再拡張事業による国際化の進展に伴い空港アクセスを充実させる要素である。実現に向けバス事業者に機会をとらえて要望する。
◎今回の補正予算で嶺町小学校増築予算を〇とし、改築の方向で基本計画を行うと聞いているがその理由は。
◎老朽度を検討したところ、嶺町小学校は古い校舎の割合が高く改築の必要性があるため、前倒しで行うこととしている。
◎現状どの程度、改築計画の検討が進んでいるのか。

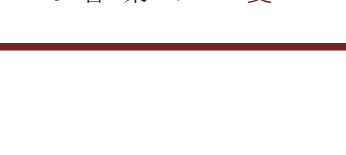
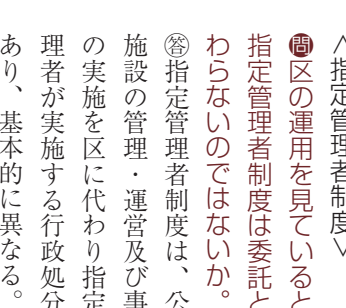
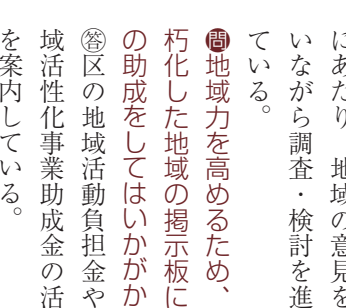
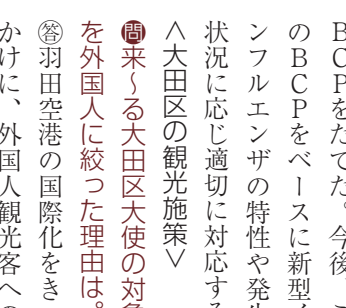
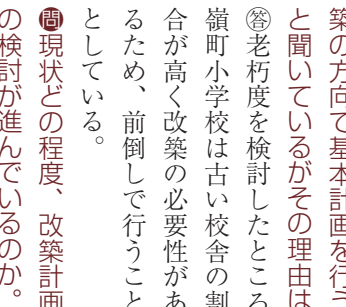
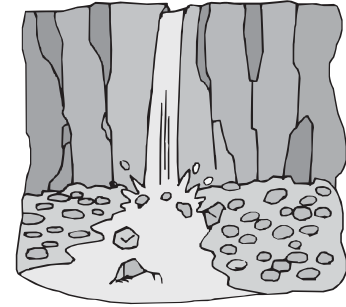
△区内公共施設整備計画で計画的に改築を進める最初の学校であり、基本計画の中でより良い方策を検討する。
△伊豆高原庄・区保養所▽
◎伊豆高原庄の改築中の代替施設として廃止予定の伊豆高原庄を使用しては。
◎若干の手直しを加えればキャパシティの問題は無く、前向きに検討する。
◎区指定保養所の増設における方針や選定方法は。
◎22年度から2か年で10施設の増設を予定。補助金の改定、回数制限は今後の課題とする。21年度は直接施設を募集し選定委員会で選定を行う予定である。

△遊び心やインパクトのあるPRが重要と考えるが。
◎区の観光に関する情報として日本語・英語版によるDVD・パンフレット・ポスターの制作を進めている。魅力的にみせるためインパクトを与える構成、演出に努める。
△区民が主役の区政を▽
◎今回の本庁舎サイン表示の変更による来庁者の反応はいかがか。
◎大変見やすくなったとの声を多数の方からいただいた。

△乱立する区内の街中にある案内サインを、観光客誘致の面から今後どのように整備するか。
◎観光案内サイン計画策定にあたり、地域の意見を伺いながら調査・検討を進めている。
◎地域力を高めるため、老朽化した地域の掲示板に区の助成をしてはいかがか。
◎区の地域活動負担金や地域活性化事業助成金の活用を案内している。

△区民視点の行政運営▽
◎職員研修体制は。
◎所管業務に係る職場内研修や必要に応じて専門的な職場外研修を実施している。
◎回答できないことを尋ねられた場合の対応を明確に。
◎周囲の職員への確認や熟知している職員に引継ぐ。
◎職務についてきちんと対応できる体制を作るべき。
◎専門研修、職場内研修の実施や業務マニュアルの整備等を実施してきた。担当部署の職員が連携し、確実に対応できるよう努める。
◎利用者からの注文や苦情に対する対応は。
◎問題の解決に、相手の身になって考え、形に表して伝えることが基本である。
◎改善策を検討する際の命令系統はどうなっているか。
◎直属の上司に報告、相談し対応する。また区民の声と担当部署が連携し、問題解決を図ることもある。
◎区民への対応について考えを伺う。
◎職員が常に区民のために行政運営を行っているという自覚を強く持ち業務を行うよう徹底する。
△指定管理者制度▽
◎指定管理者制度は委託と変わらないのではないか。
◎指定管理者制度は、公の施設の管理・運営及び事業の実施を区に代わり指定管理者が実施する行政処分であり、基本的に異なる。

△区民視点の行政運営▽
◎職員研修体制は。
◎所管業務に係る職場内研修や必要に応じて専門的な職場外研修を実施している。
◎回答できないことを尋ねられた場合の対応を明確に。
◎周囲の職員への確認や熟知している職員に引継ぐ。
◎職務についてきちんと対応できる体制を作るべき。
◎専門研修、職場内研修の実施や業務マニュアルの整備等を実施してきた。担当部署の職員が連携し、確実に対応できるよう努める。
◎利用者からの注文や苦情に対する対応は。
◎問題の解決に、相手の身になって考え、形に表して伝えることが基本である。
◎改善策を検討する際の命令系統はどうなっているか。
◎直属の上司に報告、相談し対応する。また区民の声と担当部署が連携し、問題解決を図ることもある。
◎区民への対応について考えを伺う。
◎職員が常に区民のために行政運営を行っているという自覚を強く持ち業務を行うよう徹底する。
△指定管理者制度▽
◎指定管理者制度は委託と変わらないのではないか。
◎指定管理者制度は、公の施設の管理・運営及び事業の実施を区に代わり指定管理者が実施する行政処分であり、基本的に異なる。

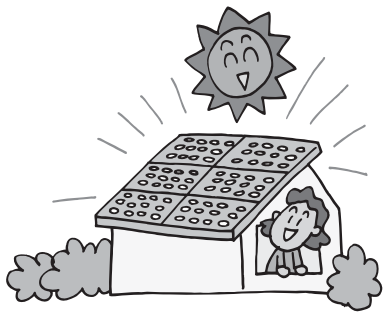


大田区議会公明党
溝口 誠

大田区議会自民党
押見 隆太

大田区議会民主党
岸田 正

大田区議会自民党
鈴木 康文



日本共産党大田区議団
金子 悦子

△区の地球温暖化対策▽
 ◎2020年度までに大田区のCO₂排出量を90年比25%減の計画にすべき。
 ◎新たな目標数値は国や都の動向を見ながら検討する。
 ◎羽田空港のCO₂排出量(05年度4百万t)公表すべき。



◎運用が今までと変わらず、予算も低く抑えられて下請けと同じではないか。
 ◎指定管理料は新たな事業展開に合わせ算出している。
 ◎経費効果の面が強調されすぎているのではないか。
 ◎経費効果の配点基準は全体の10%〜20%である。
 ◎民間の手法が生かされたいのではない。
 ◎より一層民間のノウハウが活用できるよう努める。
 ◎指定管理者制度の運用をもつ一度議論すべき。

◎国の総合的な対策が必要。
 ◎燃やして発電のサーマルリサイクルはやめるべき。
 ◎回収に不適なプラスチックは残るので、サーマルリサイクルは続ける。
 ◎太陽光発電設置補助は、350件にとどまらず遊及する等実施枠を広げるべき。
 ◎新たに設置したものに限定し、遡って補助金を交付する考えはない。
 ◎太陽光発電の電力は国に固定価格の全量買取りを要望しては。

◎制度の適正運用に努める。改革110番 大伏 秀一

△相変わらず心配な区政▽
 ◎新区長には派閥人事・ゴマすり人事の横行が多いが、マズリ人事の横行が多いが、
 ◎人事配置は、適性等を配慮し適材適所で行っている。
 ◎旧政権における部長級の就職あつ旋で報復人事がある。と聞かされた。
 ◎最善の方法で行っている。
 ◎眞の区長は部長だ、風聞聞くが区長は誰なのか。
 ◎松原区長だ。区長の手柄で解決している案件も多い。
 ◎出航直後に沈没座礁した観光課長の職はどうする。
 ◎病気療養中のため、一日

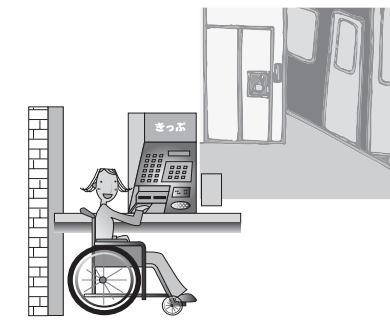
も早い回復と活躍を祈る。
 ◎雑色駅前の土地を土地開発公社ではなく蒲田開発事業(株)にぜひ購入させるのか。
 ◎公社での購入はできないため、蒲田開発で購入する。

◎障がい者(児)支援拡充▽
 ◎障がい者(児)と家族に痛みを押し付ける「障害者自立支援法」の撤回を国に強く求める考えはないか。
 ◎自立支援法は、自立支援や共生社会の実現を理念とし、支援費制度と比較してサービスの対象や種類の拡大など評価すべき点がある。新政権下の今後の動向を区として注意深く見守る。
 ◎移動支援の32時間枠の大幅拡充、重度身障者の病院内や一泊旅行のガイドヘルパー支援、移動支援の支給時間の翌月繰越しをしては、
 ◎21年度から介護者の状況

を考慮し、通所、通学の利用見直しを行った。
 ◎区は、障がい者(児)に対応した公共施設建設計画を区民に示すべき。
 ◎第二期障害福祉計画の中で、23年度までにグループホーム124名、ケアホーム97名の利用を見込む。
 ◎J/R等のバリアフリー▽
 ◎安心、安全な駅をさらに推進するため、区として駅にホームドアの設置を。
 ◎車両扉位置の異なる列車への対応や設備面、輸送力への影響などの課題がある。

自由民主党大田区議団
藤原 幸雄

△今後の区の財政運営▽
 ◎大田経営プランでは努力目標とすべき事柄や精神論は示されているが、数値目標は示されていないが、
 ◎数値目標の設定が不可欠であり、その具体化を図る。
 ◎職員数減少に反して管理職数が増えている理由は、
 ◎管理職数は、効率的な行政経営、事業の確実な実施、円滑な整理、責任の明確化、組織体制強化を図るため、増加となっている。
 ◎空港利用者への課税についてどの程度調査研究がなされたか。
 ◎地方税の法定外目的税は、



34自治体で百億円余導入されている。引続き研究する。
 ◎全容が不透明な空港跡地に多額の財政出動が予想される。基金の積上げは昨今の財政状況からみて妥当か。
 ◎跡地具体化に伴う財政負担は将来の財政需要を見極め、慎重に検討する。
 ◎インフルエンザ対策▽
 ◎タミフル・リレンザは、不足が生じれば国が市場に流通させるとしているが、医療現場に届いて初めて意味がある。薬の流通が滞り混乱することはないのか。
 ◎国や都は流通段階での不足を監視しており、医療機関に不足なく供給できると考えている。
 ◎区は国基準を超える対応は考えておらず、薬は薬剤師会の努力により確保されている。本来、公的な立場の役割ではないか。
 ◎公的な立場の役割は、不足なく薬が流通、供給される仕組みづくりである。流通の監視により不足なく供給できると考えている。
 ◎迅速検査キットの備蓄を行う考えはあるか。
 ◎キットの感度はそれほど高くなく総合的判断が望ましいとされており、区で一定数を確保する考えはない。

△待機児童解消の対策▽
 ◎経済状況の悪化から共働きをせざるを得ないにも関わらず保育園に入園できない家庭に対してどう思うか。
 ◎待機児童の保護者をはじめとした関係者の心情は十分に理解している。
 ◎児童福祉法改正後の基準で定員を設定した場合、入園可能となる児童数は、
 ◎面積比率は約15倍であるため0歳児定員は266名増という計算結果になる。
 ◎認可保育園の入園枠拡大こそが最も初めに取組むべき課題では。
 ◎新面積基準による定員枠拡大の可能性を検討する。
 ◎22年4月入園の審査までに、現行基準による定員で入園審査できるよう早急に対応を講じるべきでは。
 ◎健やかな保育環境の維持等課題を踏まえ基準見直しの可能性の検討を進める。

日本共産党大田区議団
湯本 良太郎

△今後の区の財政運営▽
 ◎大田経営プランでは努力目標とすべき事柄や精神論は示されているが、数値目標は示されていないが、
 ◎数値目標の設定が不可欠であり、その具体化を図る。
 ◎職員数減少に反して管理職数が増えている理由は、
 ◎管理職数は、効率的な行政経営、事業の確実な実施、円滑な整理、責任の明確化、組織体制強化を図るため、増加となっている。
 ◎空港利用者への課税についてどの程度調査研究がなされたか。
 ◎地方税の法定外目的税は、

△待機児童解消の対策▽
 ◎経済状況の悪化から共働きをせざるを得ないにも関わらず保育園に入園できない家庭に対してどう思うか。
 ◎待機児童の保護者をはじめとした関係者の心情は十分に理解している。
 ◎児童福祉法改正後の基準で定員を設定した場合、入園可能となる児童数は、
 ◎面積比率は約15倍であるため0歳児定員は266名増という計算結果になる。
 ◎認可保育園の入園枠拡大こそが最も初めに取組むべき課題では。
 ◎新面積基準による定員枠拡大の可能性を検討する。
 ◎22年4月入園の審査までに、現行基準による定員で入園審査できるよう早急に対応を講じるべきでは。
 ◎健やかな保育環境の維持等課題を踏まえ基準見直しの可能性の検討を進める。

区政情報コーナー・図書館で
会議録を閲覧できます

大田区役所本庁舎2階の区政情報コーナーで、会議録をご覧いただくことができます。対象となる会議は、本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会です。

または、区立図書館で、本会議の会議録をご覧いただくことができます。

△地球温暖化対策として▽
 ◎家庭におけるCO₂削減のため、21年度から太陽光発電システム設置への補助金交付事業を開始しました。8月末で当初見込みを超える申請があり、増額予算を計上いたしました。
 ◎待機児童解消の緊急プランを策定しました。当初3か所誘致予定であった認証保育所は、21年度中さらに5か所の誘致を進めるとともに保育ママさん8名の増員を目指してまいります。
 ◎「コミユニティバス」
 ◎公募による愛称も「たまちゃんバス」となり、10月11日から矢口地域を循環するルートで、1日15便の試行運行をいたします。
 ◎20年度健全化判断比率▽
 ◎実質公債費比率が昨年度から23ポイント改善し、引き続き極めて健全な財政状況にあることを示しています。

△地球温暖化対策として▽
 ◎家庭におけるCO₂削減のため、21年度から太陽光発電システム設置への補助金交付事業を開始しました。8月末で当初見込みを超える申請があり、増額予算を計上いたしました。
 ◎待機児童解消の緊急プランを策定しました。当初3か所誘致予定であった認証保育所は、21年度中さらに5か所の誘致を進めるとともに保育ママさん8名の増員を目指してまいります。
 ◎「コミユニティバス」
 ◎公募による愛称も「たまちゃんバス」となり、10月11日から矢口地域を循環するルートで、1日15便の試行運行をいたします。
 ◎20年度健全化判断比率▽
 ◎実質公債費比率が昨年度から23ポイント改善し、引き続き極めて健全な財政状況にあることを示しています。

△地球温暖化対策として▽
 ◎家庭におけるCO₂削減のため、21年度から太陽光発電システム設置への補助金交付事業を開始しました。8月末で当初見込みを超える申請があり、増額予算を計上いたしました。
 ◎待機児童解消の緊急プランを策定しました。当初3か所誘致予定であった認証保育所は、21年度中さらに5か所の誘致を進めるとともに保育ママさん8名の増員を目指してまいります。
 ◎「コミユニティバス」
 ◎公募による愛称も「たまちゃんバス」となり、10月11日から矢口地域を循環するルートで、1日15便の試行運行をいたします。
 ◎20年度健全化判断比率▽
 ◎実質公債費比率が昨年度から23ポイント改善し、引き続き極めて健全な財政状況にあることを示しています。

区長あいらし
(抜すい)

△第45回衆議院議員総選挙▽
 ◎8月30日の投票日では、政治に変化を求める有権者の意思が示された結果となり、今回の政権交代で、自治体の行財政運営への影響も想定されます。今後、国や都の動きを注視し、区民の期待に応える適切な区政運営を進めてまいります。
 ◎新型インフルエンザ▽
 ◎感染の拡大が続いており、区内でも8月下旬には学校などで集団感染が発生しています。ピークを迎える今後に向けて、区民の皆様への適切な情報提供や医療体制の充実を図り、対応していきます。

△地球温暖化対策として▽
 ◎家庭におけるCO₂削減のため、21年度から太陽光発電システム設置への補助金交付事業を開始しました。8月末で当初見込みを超える申請があり、増額予算を計上いたしました。
 ◎待機児童解消の緊急プランを策定しました。当初3か所誘致予定であった認証保育所は、21年度中さらに5か所の誘致を進めるとともに保育ママさん8名の増員を目指してまいります。
 ◎「コミユニティバス」
 ◎公募による愛称も「たまちゃんバス」となり、10月11日から矢口地域を循環するルートで、1日15便の試行運行をいたします。
 ◎20年度健全化判断比率▽
 ◎実質公債費比率が昨年度から23ポイント改善し、引き続き極めて健全な財政状況にあることを示しています。

△地球温暖化対策として▽
 ◎家庭におけるCO₂削減のため、21年度から太陽光発電システム設置への補助金交付事業を開始しました。8月末で当初見込みを超える申請があり、増額予算を計上いたしました。
 ◎待機児童解消の緊急プランを策定しました。当初3か所誘致予定であった認証保育所は、21年度中さらに5か所の誘致を進めるとともに保育ママさん8名の増員を目指してまいります。
 ◎「コミユニティバス」
 ◎公募による愛称も「たまちゃんバス」となり、10月11日から矢口地域を循環するルートで、1日15便の試行運行をいたします。
 ◎20年度健全化判断比率▽
 ◎実質公債費比率が昨年度から23ポイント改善し、引き続き極めて健全な財政状況にあることを示しています。

△地球温暖化対策として▽
 ◎家庭におけるCO₂削減のため、21年度から太陽光発電システム設置への補助金交付事業を開始しました。8月末で当初見込みを超える申請があり、増額予算を計上いたしました。
 ◎待機児童解消の緊急プランを策定しました。当初3か所誘致予定であった認証保育所は、21年度中さらに5か所の誘致を進めるとともに保育ママさん8名の増員を目指してまいります。
 ◎「コミユニティバス」
 ◎公募による愛称も「たまちゃんバス」となり、10月11日から矢口地域を循環するルートで、1日15便の試行運行をいたします。
 ◎20年度健全化判断比率▽
 ◎実質公債費比率が昨年度から23ポイント改善し、引き続き極めて健全な財政状況にあることを示しています。

△地球温暖化対策として▽
 ◎家庭におけるCO₂削減のため、21年度から太陽光発電システム設置への補助金交付事業を開始しました。8月末で当初見込みを超える申請があり、増額予算を計上いたしました。
 ◎待機児童解消の緊急プランを策定しました。当初3か所誘致予定であった認証保育所は、21年度中さらに5か所の誘致を進めるとともに保育ママさん8名の増員を目指してまいります。
 ◎「コミユニティバス」
 ◎公募による愛称も「たまちゃんバス」となり、10月11日から矢口地域を循環するルートで、1日15便の試行運行をいたします。
 ◎20年度健全化判断比率▽
 ◎実質公債費比率が昨年度から23ポイント改善し、引き続き極めて健全な財政状況にあることを示しています。

8日には完了となりました。
 ◎大田区加工技術展示商談会▽
 ◎6月12日の商談会では、2,708人もの来場者がありました。世界的不況下で中小企業の経営は、引続き厳しい状況ですが、区内企業の高い技術力を内外に示し、販路拡大につながる支援策に取組んでまいります。

松原忠義 区長

平成20年度

決算に対する各会派の意見



審査のようす



勝亦 聡 委員長 鈴木康文 副委員長

平成20年度大田区一般会計歳入歳出決算、国民健康保険事業・老人保健医療・後期高齢者医療及び介護保険の各特別会計歳入歳出決算について、9月17日の本会議で決算特別委員会（議長及び議員選出監査委員を除く45名で構成）を設置し、10月2日から10月9日までの実質6日間にかたり、集中的に審査しました。これらの決算に対する各会派の意見は次のとおりです。

なお、一般会計、国民健康保険事業特別会計、老人保健医療特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計は賛成多数で認定されました。

区民の安全と安心を高める区政運営を

大田区議会公明党

大田区議会公明党は、第80号議案から第84号議案に至る、全議案に賛成を致します。世界同時不況のための最大の経済対策が、雇用、融資などの面で打たれました。大田区においても、ゼロ金利、金利なしのかつてない政策が実施され、融資係は行列ができ、予約制となりました。

基金について「ためこみ」という発想は古い、短期的、一時的考えです。なぜなら、90年代に基金の効用は証明済みです。その場限りの、その日暮らしの生活は許されません。あまりにも愚かでありませぬ。最少の経費で最大の効果はもちろんです。区民にとって「スピード」と計画の達成率も重要で、また重複滞納者対策についても、早期に電算を活用して調査と対策をお願い致します。

- ① 羽田空港の騒音対策のために緩衝緑地の整備を
- ② 民間の力を利用しながら、大田区職員の適正配置で業務の質の向上を
- ③ LEDの利点を活かして香川のユスリカ対策として街灯の導入
- ④ 補聴器の購入費用補助を
- ⑤ 発達障害児の支援充実を
- ⑥ コミュニティサイクルで新たなまちづくりの発想を
- ⑦ ヒパワクチン接種の助成制度を
- ⑧ 耐震診断、改修助成を新築物件も対象に
- ⑨ 応急小口資金の条件緩和

積立基金は明日への希望

大田区議会自民党

平成21年9月16日、本会議第1日、区長より開会の挨拶の中で、政権交代に伴う国の方針転換により、自治体の行政運営への影響も想定されると予見されています。権限と財源を伴った真の分権型社会構築を求める自治体に対して、どのような舵取りを求めてくるのか国及び都の動きを注視すると述べています。先の見えない経済状況の中、大田区は6月に「大田行政経営プラン」を策定しました。これは「おおた未来プラン10年」の円滑な実現のため、新たな行政計画として立ち上げたものです。「平成20年度健全化判断比率の状況」では、大田区財政の健全化の数値の4つの指標は、実質公債費比率が昨年度より2・3ポイントさらに改善され健全な財政状況にあると示してあります。

しかしながら、予想される平成21年度収入は、明確な陰りが見えてくることは必定です。この度の議案第80号以下全ての議案は、リーマンショック以後6カ月を経過した財政数値です。本格的な回復には程遠いものです。よって平成21年度の予算執行に当たっては、不用不急の案件の廃除と経済効果の総点検の実施を求めます。現状の大田区は財政健全化法の4指標にいずれも抵触することなく、将来の借金返済負担額を貯金にあたる基金でカバーし、財政状態は恵まれています。財政基金を始めとして、各種積立基金の積み立てが、平成22年度予算編成に役立つことは間違いありません。

よって、平成20年度各会計歳入歳出決算に賛成致します。

区民の生活幸福向上のための施策を

自由民主党大田区議団

平成20年度大田区一般会計歳入歳出決算、並びに第81号議案から第84号議案に至る、4件の特別会計歳入歳出決算を認定することに賛成致しました。

昨今の景況感から鑑み、税収減が見込まれ、それに伴い大田区の次年度の歳入減が見込まれます。またこのような経済状況から区民が行政に求める役割がより大きくなると考えます。歳入は減じますが求められる役割は増えるという状況下において、区が区民に対し最大限の区民支援を行いながら財政の健全性を保たなければなりません。そのためには強固な財政基盤の確立がなされてきたかが評価の対象となります。この舵取りを行うためには、基金の活用の仕方に工夫がなされなければならないと考えます。

そのような視点から、大田区の平成20年度の予算執行に対する評価として、弾力性を持たせた予算編成と執行がなされたことは先見性の高さとして評価を出来るものであります。

今後の対応として経済状況の悪化に伴い困難に直面している区民の支援のための施策に知恵を絞る、必要があると判断がなされれば基金の有効的な活用を求めるものであります。喫緊の課題である保育園の待機児解消対策、新型インフルエンザ対策、羽田空港国際化に向けての対応等区の主体性を保ちながらも、国や東京都とともに区民の生活幸福向上を目指し、今後大田区とともに施策の立案、実行を目指してまいります。

ため込み優先でなく、区民のくらし・営業第一の区政へ

日本共産党大田区議団

日本共産党大田区議団は、一般会計と国保・後期高齢者・介護・老健の各特別決算の認定に反対しました。

妊婦検診の拡充、コミュニティバス導入、認可保育園の開設、障がい者ケアホームの整備、緊急経営強化資金等は区民の要望が実り評価できます。

しかし、自公政権の福祉切り捨て、中小商工業者は世界的経済危機から仕事で激減し倒産・廃業が増加し、区民の暮らしと営業は深刻となり具体的な支援が急務でしたが、生活支援より、積立金を増やし年度末には1040億円となり、区民に約束した予算の使い残し分は104億円と過去最高でした。

また、羽田空港跡地、JR・京急駅前再開発など開発優先がより鮮明になり、蒲蒲線計画は再調査で利用者数は半減、赤字から黒字転換年は倍近い37年という結果が出て進む方向です。さらに民間委託や指定管理者制度の導入による職員削減で経費削減になつたと評価していますが、低賃金・不安定な非正規雇用の増加と、逆三角形の職員（年齢）構成で継続的な住民サービスが困難な区政運営となっています。

新年度予算編成は、開発優先ではなく、区民の暮らしと営業を守る区政となるよう、以下の提案をします。

- 区内中小零細企業への固定費補助、障がい者ガイドヘルパーの時間拡充、ふれあい入浴券増、生活習慣病検診の拡充、蒲蒲線計画の白紙撤回、市民消防隊の支援強化、認可保育園増設で待機児解消へ、区立特養ホーム増設、就学援助拡充、小中学校の少人数学級等。

新政権誕生 行政改革により区民の生活第一の政治を

大田区議会民主党

平成20年度大田区一般会計歳入歳出決算から特別会計他すべての決算議案に賛成しました。

大田区の財政状況は健全であるといえますが、財政需要の数多くある中で過去最大104億円もの不用額が生じており対策が必要です。積み立て基金の運用・活用の在り方についても再考の必要性があります。

平成20年度は、世界金融危機に対して他の自治体に先駆け「緊急経営強化資金」として行った3年間の無利子融資、219億円、2、975件の実績は評価されますが、今般景況は厳しく財政状況は予断を許さない状況にあります。

大田区の新たな行政改革計画「大田行政経営プラン」の内容の精査と着実な実行が重要であり、「事業仕分け」による事務事業の総点検や民間等のノウハウの適切な活用について、再点検を行うことは急務です。役所の無駄を削り、その分をしっかりと住民ニーズに合わせ議論し、合理的に分配される事が真の目的です。

新政権が進める予算の全面組み換えなど、区の前編成にも大きく影響してくることに自治体も変化が求められています。

民主党が掲げる「脱官僚」「政治主導」により、この国のかたちや私たちの暮らしは大きく変わります。期待と不安を真摯に受け止め、区民の暮らしが第一の政治を実現してゆきます。

◎定例会で決まった議案◎

◎は全会一致の議案

▽は賛成者多数の議案(各会派の態度は表のとおり)

区長提出議案

平成20年度歳入歳出決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	231,612,135,878	210,659,459,863	20,952,676,015 (財政基金へ繰入=5,846,126,000 21年度へ繰越=15,106,550,015)
国民健康保険事業特別会計	68,756,847,553	67,666,852,943	1,089,994,610(21年度へ繰越)
老人保健医療特別会計	6,416,369,776	6,216,017,614	200,352,162(21年度へ繰越)
後期高齢者医療特別会計	10,380,934,541	10,166,879,861	214,054,680(21年度へ繰越)
介護保険特別会計	34,695,899,177	33,922,614,354	773,284,823(21年度へ繰越)

平成21年度補正予算

▽一般会計(第2次)

(56億5、124万2千円を増額する。)

◎国民健康保険事業特別会計(第1次)

(1、686万4千円を増額する。)

◎老人保健医療特別会計(第1次)

(1億9、039万1千円を増額する。)

▽後期高齢者医療特別会計(第1次)

(1、158万9千円を増額する。)

▽介護保険特別会計(第1次)

(9億1、604万5千円を増額する。)

◎条例の一部改正

▽公益的法人等への職員の派遣等に関する条例

(公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律に基づき、人的援助を行うことのできる特定法人を定めるほか、規定を整備する。)

▽職員の退職手当に関する条例

(公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の改正に伴い、規定を整備する。)

◎大田区手数料条例(租税特別措置法の改正に伴い、規定を整理する。)

◎大田区立児童遊園条例(北千束ひつじ児童遊園を廃止するため、条例を改正する。)

◎条例の廃止

▽大田区立区民保養所条例(施設の老朽化等に伴い、大田区立伊豆高原荘を廃止するため、条例を廃止する。)

◎大田区立区民保養所条例

(大森南四丁目土壌置換その他工事の他工事)

(契約金額2億6、145万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

(大田区立区民保養所条例の他工事)

◎大田区立区民保養所条例

(大田区立区民保養所条例の他工事)

◎大田区立区民保養所条例

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億8、875万円、契約の相手方、山田・大世・神山建設工事共同企業体)

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

(大田区立区民保養所条例の他工事)

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

◎大田区立区民保養所条例

(大田区立区民保養所条例の他工事)

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3番の地先まで

◎特別区道路線の廃止

▽城南島五丁目1番の地先から七丁目3番の地先まで

▽大田区役所本庁舎照明改修電気設備工事

(契約金額1億8、270万円、契約の相手方、大田電設協同組合)

◎土地

◎負担付贈与の受入れ

(東糞谷三丁目163番2の土地を、20年間、防災活動拠点用地として使用する。相手方、東京都)

◎特別区道路線の認定

(大田区立区民保養所条例の他工事)

(契約金額2億2、174万円、契約の相手方、佐々木・木武・阿部建設)

◎大田区立区民保養所条例

報告

◎城南島五丁目1番の地先から六丁目5番の地先まで、城南島一丁目無番(街区符号10番)の地先から七丁目3

◎請願・陳情の結果◎

今定例会で新規に提出されたもの及び継続審査していたもので結果の出たものを掲載しています。

かつこ内(継続分は継続と表記)は審査結果です。

総務財政委員会

- ・地上デジタル放送に関する陳情(不採択)
- ・海上保安庁の増員を求める意見書提出を求める陳情(不採択)

地域・産業委員会

- ・所得税法第56条廃止の意見書を求める請願(不採択)

保健福祉委員会

- ・支援費の移動介護時間の繰越に関する陳情(採択)
- ・ヒブワクチンの公費助成による定期接種化を求める陳情(継続)
- ・馬込墓苑の建設に関する陳情(継続)

生活保護の「母子加算」

- ・生活保護の「母子加算」復活を要求する国への意見書を求める請願

生活保護の「老齢加算」

- ・生活保護の「老齢加算」復活を要求する国への意見書を求める請願

都市・環境委員会

- ・多摩川河川敷(田園調布4丁目先・多摩川グラウンド付近)の除草工事に関する陳情(継続)
- ・鬼たび通り(東邦医大通り)大森西4丁目バス停に雨よけ(日よけ)用の

屋根の設置促進についての陳情(継続)

・ゴミ処理器に関する陳情(不採択)

こども文教委員会

- ・認証保育所の保育料等の助成に関する陳情(継続)
- ・現行保育制度に基づく保育施策の拡充に関する意見書提出を求める陳情(継続)

平成22年度大田区私立幼稚園関係予算の要望について(採択)

- ・「3人乗り自転車」のレンタル化を求める陳情(継続)

議会運営委員会

- ・一昨年の区議会議員選挙後、議会役職の選出方法を自公民系会派が数の力で覆し、各委員会の委員長・副委員長を自公民系会派で独占し、特定の会派を委員会役職から排除する、区議会議員選挙で示された有権者の意思を無視する強権的且つ専横的な議会役職選出を止め、改めて公正公平な議会役職の選出をするよう求める陳情(不採択)
- ・本会議場において国旗掲揚を求める陳情(採択)

防災・安全対策特別委員会

- ・区条例第13号大田区安全で安心なまちづくり条例に対しての陳情(継続)

請願・陳情はどなたでも出せます

年月日

大田区議会議長〇〇〇〇あて

請願者(陳情者)

住所

氏名

電話番号

紹介議員(陳情には不要)

〇〇〇〇に関する請願(陳情)

請願(陳情)の趣旨

1

2

理由

- 1 請願には、議員1名以上の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は、陳情として取り扱います。
- 2 請願・陳情の趣旨は、簡潔、明りょうに書き、内容が数種類に及ぶ場合には、それぞれ別の請願・陳情に分けてください。
- 3 請願・陳情者の押印が必要です。住所、氏名は原則として公開となります。
- 4 署名簿がある場合は、請願・陳情の後につけてください。
- 5 大田区議会は、原則として請願と陳情を同一に取り扱っています。
- 6 受付は、土、日、休日を除く平日の午前8時30分から午後5時まで、区役所本庁舎10階の議会事務局で行っています。

陳情書を提出される方へ

次に該当する陳情は審査されない場合があります。

- ①著しく個人、団体等をひぼう、中傷し、名誉棄損、信用失墜のおそれがあるもの
 - ②脅迫、恐喝等、公序良俗に反する用語の使用があるもの
 - ③郵送されたもの
 - ④住所、連絡先が不十分で連絡のとれないもの
 - ⑤同一期で概ね一年を経過していない同趣旨のもの
 - ⑥マンション紛争等私人間で解決すべき内容を含むもの
 - ⑦既に願意が達成されていると思われるもの
 - ⑧その他議長が審査になじまないと判断したもの
- 詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書

新政権の発足とともに、民主党のマニフェストに示された政策・制度への変更が進められることとなります。

一方、前政権下において、わが国が直面している未曾有の経済危機を克服するために、平成21年度予算及び同年度第1次補正予算が可決成立しています。総額で14兆円を超えるこの予算には、地域活性化・公共投資臨時交付金、地域活性化・経済危機対策臨時交付金、経済対策関連の自治体に交付される15の基金などの創設等が計上されており、各地方自治体は、当該基金などの活用を前提に、経済危機対策に資する事業を計画し、補正予算の議決と事業の執行を目指して、準備を行っているところです。

新政権によって、前述の経済危機対策事業についての予算執行が見直されることになれば、すでに、関係事業を執行中あるいは、執行準備が完了し、当該事業の広報・周知が済んでいる地方自治体にとって、誠に憂慮すべき事態の発生が懸念されます。

万一、関係事業を中止せざるを得ない事態になれば、地方自治の混乱を招くだけでなく、地域雇用情勢にも深刻な打撃を与え、経済対策の効果によって、景気底入れから成長に転じる兆しの出た日本経済に悪影響を及ぼしかねない恐れがあります。

上記の状況を考慮し、政府におかれましては、政策の見直し、税制の改革、制度の変更にあたっては、平成21年度予算及び同年度第1次補正予算によって、地方自治体の進めてきた雇用や中小企業対策などの施策や事業について財源問題で執行に支障が生じることはないよう行われることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成21年9月30日

内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣 } あて

大田区議会議長

朝陽区友好訪問団

平成21年5月19日

平成10年9月に大田区と友好都市になった北京市朝陽区の友好訪問団が、東京都と北京市の友好都市提携30周年の記念式典の参加にあわせて、大田区議会を訪れました。

永井敬臣議長をはじめとした大田区議会議員と懇談するとともに、区議会議場を見学し、交流を深めました。



議長と握手を交わす朝陽区人民代表大會常務委員會 王力軍主任

各国都市から議会訪問



セーラム市訪日団と正副議長、各会派幹事長が記念撮影

セーラム市学生訪日団

平成21年8月11日

姉妹都市であるアメリカ合衆国セーラム市から高校生を中心とする訪日団が大田区議会を訪れました。かつて区の交流職員であったピーター・ドーラン氏ご一家も一緒でした。訪日団は議長をはじめとする区議会議員と懇談しました。初来日の高校生は日本人の親切さや礼儀正しさに感激したこと、また区内の名所旧跡にある日本文化の繊細さに驚いたことなどの印象を話してくれました。

第9回平和祈念コンサートを開催しました。

8月15日に区民ホールアプリコにて今年で9回目となる「平和祈念コンサート」を開催しました。このコンサートは、全議員が超党派で実行委員となり、近年、戦禍のため被害を受けたカンボジアの子どもたちへ、認定NPO法人「JHP・学校をつくる会」を通して、教育支援などを行おうとするものです。

第1部では、ピアニスト近藤嘉宏さんが演奏する「ショパンの調べ」に会場は、魅了されました。第2部では、昨年に引き続き華やかなレディーズオーケストラ「flumus(フルムス)」と、二胡の新しい境地を開いたことで名高い姜建華(ジャン・ジェンホワ)さん、津軽三味線の若手実力者の福居一大さんがステージに立ち、その素晴らしい演奏にホールを埋めた1,200人あまりの人々が聴き入っていました。また、アンコールとして「青い星に平和の種を」を全員で合唱し、平和の思いを新たにしました。

ロビーではガールスカウト第6地区の皆さんによる募金活動の明るく元気な声が響き渡り、「JHP・学校をつくる会」の活動を紹介するパネル展示に、多くの来場者が興味深く見入っていました。

▶近藤嘉宏さん



▶姜建華さん



▶flumus



▶福居一大さん

